

## とんぼ小児科で「小児発熱外来」が 始まりました！



冬のインフルエンザの流行を前に、今年は新型コロナウイルス感染症との同時流行も懸念されます。国の方針として10月より発熱の患者は「まずかかりつけ医に」相談するように指導がありました。今までは、まず保健所に相談する体制でしたので、大きく転換しました。今回は臼杵市での冬場のこどもの発熱患者の診療体制について説明します。

### Q1. 「小児発熱外来」とは？

10月1日にとんぼ小児科に設置された、0歳～小学生までの小児の診察を行い、必要があれば新型コロナの検査を行うための独立した診察室です。臼杵市医師会との委託契約で設置されました。発熱で受診したお子様全員をこの診察室で診ます。



### Q2. 発熱外来の場所はどこですか？

とんぼ小児科医院に隣接する建物の1階を改装して作りました。クリニックの駐車場の左側の奥になります。歩いてすぐです。



### Q4. 発熱時の受診はどうすれば、良いですか？

- ① スマホ予約または電話予約で、必ず発熱があることをお知らせ下さい。
- ② 発熱している人はクリニックには入れません。車でお待ちいただきます。
- ③ 駐車場でお子様から離れられない時は、「駐車場に着いた旨」電話をお願いします。車にお伺いし、病状をお聞きます。
- ④ 車以外で来院された方は、隔離室でお待ちいただきます。
- ⑤ 車に待機していただいた発熱のお子様は、順次「発熱外来」にお連れします。
- ⑥ 「発熱外来」で診察後に説明を行い、必要により車に処方箋と薬局からお薬をお持ちします。

### Q3. 設備・装備はどうなっていますか？

- 発熱外来の診察室には簡易型陰圧装置があり、フィルターを通して強制的に排気されます。空気感染、飛沫感染の可能性のある病原体(ウイルス)が室外に漏れるのを防ぎます。
- 装備はフェイスシールド、サージカルマスク、ガウン、手袋をして診察し、その後机、椅子、ドア取っ手、聴診器等は、毎回アルコール消毒綿で拭き上げています。

### <お願いです>

ご家族も含め、クリニックに入られる人は全員、待合室の入り口にあるリモート体温検知器の前に立ちいただきます。熱を測定し、「正常範囲内です」のメッセージが流れれば合格です。待合室へお入り下さい。